

## 「少子高齢化と社会保障」の課題

馬居 政幸

社会保障との関係で少子高齢化の何が課題か。この言葉が負担側の問題を隠すことである。少子は十四歳以下の年少人口減、高齢化は六五歳以上の老年人口増を示すが、日本の社会保障の前提を崩す十五歳～六四歳の生産年齢人口減を明示する言葉ではない。

社会保障の核をなす年金は、生産年齢人口を構成する従業員と雇用者が折半で納め、それを老年人口が使用する賦課方式。同様に健康保険も労使が同額納める保険金で運営される。納付者が減り、受給者が増えれば、納付額を増やすか受給額を減らすしかない。世代間格差となる課題だが、少子高齢化では納付者の減少と特性が隠される。

特性とは何か。世代内格差である。

社会保障の制度設計のモデル家族はサラリーマンの夫、専業主婦の妻、二人の子ども。モデル外である未婚、共働き、子がない家族、自営業が不利になる。そのカラクリを示そう。

年金は①共済、②厚生、③国民の三種、健康保険もi共済、ii社会、iii国民に分かれ、①とiは公務員、②とiiは会社員、③とiiiは自営業者が担い手である。問題は格差があること。その代表が納付額。①②は労使折半だが自営の③は両者を兼ねるとして二倍要求される。さらに①②には独自の年金が加算され、配偶者は年収が一三〇万円未満なら納付金は必要ない。だがこの

制度も③に適用されない。その結果、③は満額でも月6万円台。高齢単独世帯になれば生活保護費の対象になる。

このように日本の社会保障は家族形態と就く職で格差が生じる制度。だが少子高齢化はモデル家族を少数派に、単独世帯を大家族に拡大する。さらに就業者の七割が三次産業に属し、卸売・販売が製造業を超え、医療・福祉と宿泊・飲食がそれに続く社会に変化する。いずれも非正規・短期の割合が高い職である。その結果、②であるべき被雇用者が③iiiを選択させられる。二〇一〇年公的年金加入等状況調査では、二〇歳～三九歳の国民年金加入率は二四%。非正規・低収入の若者の国民年金で正規・高収入だった高齢者の配偶者の年金が賄われ、自らの老いとともに四人に一人が生活保護予備軍に、と読める数値である。

△静岡大学教授▽

新視点で考える「これからの社会的課題」



内田友和先生 (広島県広島市立千田小学校)



中川隆先生の授業風景 (広島県東広島市立造賀小学校)



新谷和幸先生 (広島大学附属東雲小学校)



有森歩先生 (広島県広島市立緑井小学校)

## 特集 “新視点”で考える社会科イノベーション

社会科イノベーション ↓ 改訂に向けての論点はどこか

棚橋健治・田中 伸・金 枝辰・7/祐岡武志・市川 新・外池 智…8  
工藤文三・田上 哲・田山修三…9

社会科イノベーション ↓ 新視点のフレームワークを提案する

最終ゴールをどう考えるか  
育てる子ども像から認識内容・評価のフレームワークを構築…岩田一彦 10  
最終ゴールは今も昔も今後も民主主義を探り続ける市民…永田忠道 12  
ビジネスマン養成の「グローバル人材」を超えた二十一世紀型社会科への革新を…谷口和也 14

社会科イノベーション ↓ 小・中・高を貫く「柱」とは

教科の本質・固有の知識スキルを考へる  
「社会がわかる」力を育てる具体と抽象の往還…山田秀和 16  
教科書の問いを分析してカリキュラムを編成するヒント…谷 和樹 18  
学習者の多様性に応じた社会科カリキュラムの構想…桑原敏典 20

社会科イノベーション ↓ 小・中・高を貫く「柱」とは

キーワードで提案する  
「できる」評価は、生徒を信じること…土屋武志 22  
現代社会の諸課題をとらえる枠組み…唐木清志 24  
原点回帰…「社会研究」のための社会科へ…溝口和宏 26

新視点で考える教材と授業づくり

提 案  
小学校社会科の検討課題は何か…澤井陽介 28  
意見  
片上宗二・米田 豊・寺本 潔・池野範男・加藤寿朗・石橋昌雄 34  
高見を説いて  
教師に受け入れられ、使命を果たせる社会科は…澤井陽介 40

諸外国の社会系教科 ↓ 教育課程編成のコンセプトは何か

アメリカ・草原和博・42 イギリス・志村 喬・44 ドイツ・宇都宮明子・46

社会科イノベーション ↓ 新視点で考える全体像

教科目標・目標構造 → 新視点で考える  
基礎的・基本的知識・概念 → 新視点で考える  
資質・能力の育成 → 新視点で考える  
社会的事象の見方・考え方 → 新視点で考える  
身につける態度・技能 → 新視点で考える  
授業の目的・あり方 → 新視点で考える  
評価の目的・内容・方法 → 新視点で考える

この問題 新視点でどうとらえ直すか

近現代重視…原田智仁・62 効率と公正…橋本康弘・66 費用対効果…岡崎誠司 70  
公共意識の醸成…峯 明秀・63 国境と領土問題…南浦涼介・67 防災…山崎憲治 71  
伝統文化重視…中村 哲・64 情報化社会…小原友行・68  
公民的資質…栗原 久・65 エネルギー・環境…山下宏文・69

新視点で考える これからの社会的課題

多文化社会…小田桐忍・72 名文化・シムラマ…中本和彦・76 金融・経済…釜本健司 80  
地球規模…荒井正剛・73 平和外交と国際紛争…鷲原 進 77 宗教…吉永 潤 81  
ユニバーサル化…岩本 剛・74 持続可能な開発目標…永田成文・78 有権者教育…渡部竜也 82  
情報リテラシー…佐長健司・75 少子高齢化と社会保障…馬居政幸・79 社会参画…王子明記 83  
社会科のイノベーション ↓ 新視点で考える、欲しい単元・いらぬ単元

小学校3年…小倉勝登・齋藤幸之介・84 中学地理…清水 学・田部俊充 92  
小学校4年…松本卓也・栗田千恵子・86 中学歴史…須賀忠芳・内藤圭太 94  
小学校5年…大西慎也・長谷川裕晃・88 中学公民…石本貞衡・栗谷好子 96  
小学校6年…田中卓也・井川和道・90 中学公民…石本貞衡・栗谷好子 96

教科書制作現場発 編集室に届いた先生の声

実践に入魂！有田和正 不滅の名言集

河田孝文…100 佐々木昭弘…101 新保元康…102 鈴木健二…103  
安野 功…104 峯 明秀…105 向山行雄…106

連載講座

●今月の教材 楽しい授業づくりのヒント  
3年…服部 太・107 4年…根本 徹・108 5年…柳沼孝一・109 6年…宮崎貴寛 110  
中学地理…北尾 悟川 中学歴史…善財利治・112 中学公民…森口洋一 113  
●世界と日本の子ども 社会をどのように認識し、感じ、考えているか  
入口は「建前」出口は「本質」の授業論  
この単元の構造図・こうなる  
社会科主任の仕事術・ポイントはここ  
社会科実践 定期テスト作問の鉄則と実例  
社会科実践研究のここにハイライト(小学校)  
社会科実践研究のここにハイライト(中学校)  
社会科研究最前線 ●わが教室の取り組み、ここに注目して  
わが県の情報 ●ここに「この授業あり」 広島県の巻